



キャノングローバル戦略研究所
The Canon Institute for Global Studies

キャノングローバル戦略研究所 (CIGS) シンポジウム

東日本大震災とNGO ーグローバルな視点を踏まえてー

■開催概要

日時：2011年9月5日(月) 14:00-18:00

場所：新丸ビル9階 コンファレンススクエア 901
(東京都千代田区丸の内1-5-1)

■プログラム

14:00-14:20	開会挨拶 福井 俊彦 キャノングローバル戦略研究所 理事長 シンポジウムの趣旨説明 美根 慶樹 キャノングローバル戦略研究所 研究主幹
14:20-15:50	<第一部>「東日本大震災と日本の国際協力NGOの対応」
14:20-14:30	第一部 企画意図説明：大橋 正明 国際協力NGOセンター 理事長
14:30-14:45	発表1：椎名 規之 ジャパン・プラットフォーム 事業局長代行
14:45-15:00	発表2：山口 誠史 国際協力NGOセンター 事務局長
15:00-15:15	発表3：山本 理夏 ピースウィンズ・ジャパン 東京事務局 緊急対応チーフ
15:15-15:30	発表4：渡辺 日出夫 アドラ・ジャパン 国内事業担当
15:30-15:45	質疑応答
15:45-15:50	第一部まとめ：大橋 正明
15:50-16:00	休憩
16:00-17:50	<第二部>「国際社会と東日本大震災」
16:00-16:10	第二部 企画意図説明：長 有紀枝 難民を助ける会 理事長
16:10-16:25	発表1：定松 栄一 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 事務局次長兼海外事業部長
16:25-16:50	発表2：ヨハン・セルス UNHCR 駐日事務所日本代表
16:50-17:15	発表3：ランディ・マーティン Mercy Corps, Director at Large for East Asia
17:15-17:30	発表4：能化 正樹 外務省 NGO担当大使
17:30-17:45	質疑応答
17:45-17:50	第二部まとめ：長 有紀枝
17:50-18:00	全体総括 大橋 正明
18:00-19:00	懇親会



大橋 正明

Masaaki Ohashi

特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター(JANIC) 理事長
恵泉女学園大学教授

1980～87年「シャプラニール=市民による海外協力の会」バングラデシュ駐在員及び事務局長、90～93年、国際赤十字・赤新月社連盟兼日本赤十字社のバングラデシュ駐在員。93年より現職の恵泉女学園大学教員(国際開発学、南アジア地域研究)。日本NPOセンター副代表理事、シャプラニール副代表理事、サマンバヤの会副代表、アユス仏教国際協力ネットワーク理事などを務める。主著に「進化する国際協力NPO—アジア、市民、エンパワーメント」(共編著)(明石書店、2006年)等。

椎名 規之

Noriyuki Shiina

特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム 事務局長代行

2001年より日本のNGOで緊急人道支援にかかわり、インドやアフガニスタンで事業を担当。2004年から2007年まで国連アフガニスタン地雷対策センターや国連開発計画に勤務し、開発支援に携わった。現在、外務省や32の日本のNGO、日本の企業からなるジャパン・プラットフォーム(JPF)にて事務局長代行。スリランカ、スーダン南部、ハイチ、アフガニスタンなどのプログラムや東日本大震災被災者支援などに係っている。

山口 誠史

Masashi Yamaguchi

特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター(JANIC) 事務局長

1956年埼玉県生まれ。6年間のサラリーマン生活の後、1985年に(特活)日本国際ボランティアセンター(JVC)のボランティアとして東アフリカのソマリアへ赴任し、約2年間難民救援プロジェクトに従事。その後、JVCの神奈川事務所長、カンボジア現地代表などを歴任。2001年に、保健医療専門のNGOである(特活)シェア＝国際保健協力市民の会の事務局長に就任。2010年3月に(特活)国際協力NGOセンターの事務局長に就任し、現在に至る。ほかに、NGO-JICA協議会コーディネーター、「新しい公共」推進会議委員など。今年でNGOスタッフ暦26年。

山本 理夏

Rika Yamamoto

特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン 東京事務局 緊急対応チーフ

大学卒業後、米国の大学院にて国際関係学・国際政治学を学ぶ。1994年よりNGOや国連ボランティアとしてアフリカやコソボで難民支援に携わる。2000年にピースウィンズ・ジャパンに入り、シエラレオネ、リベリア、アフガニスタン、イラク、スーダン南部など紛争地における人道支援や、スマトラ地震・津波、パキスタン地震、ミャンマーサイクロン、ハイチ地震などの自然災害の緊急支援に関わる。海外での支援経験を活かし、国内でも新潟県中越地震や中越沖地震で被災地入りしている。今回の東日本大震災では直後より現地入りし、現在は東京にて事業を統括している。

渡辺 日出夫

Hideo Watanabe

特定非営利活動法人 ADRA Japan (アドラ・ジャパン) 国内事業担当

1994年に専門学校卒業後、客船飛鳥のオフィサーとして世界30カ国以上を巡る。1998年、学生時代からボランティアとして関わっていたADRA Japanに転職し、2001年までアジアでの緊急・開発支援事業を担当。その後、青少年育成事業などに携わるが、2008年にADRA Japanに復職し、国内事業を担当している。平時は、防災士として「東海地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会」委員などを務めつつ、国内での防災・減災啓発活動に従事。東日本大震災発生後翌日より宮城県に入り、仙南地域を中心に被災者支援活動を行なっている。



長 有紀枝

Yukie Osa

NPO法人 難民を助ける会 理事長
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授
NPO法人 ジャパン・プラットフォーム (JPF) 理事
福島県相馬市復興顧問会議委員

東日本大震災発生当初は、JPF代表理事として、4月以降は、難民を助ける会理事長として、震災対応に従事する。難民を助ける会は、宮城、岩手両県で、障害者・高齢者施設支援を中心に活動しているが、特に福島県での支援を担当。

定松 栄一

Eiichi Sadamatsu

(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン (SCJ) 事務局次長兼海外事業部長

日本赤十字社、シャプラニール=市民による海外協力の会を経て2003年SCJに入局。これまでにエチオピアとネパールに駐在し災害救援と開発協力の両方に関わる。東日本大震災では、主に海外のセーブ・ザ・チルドレンとの連絡調整を担当。

Johan Cels

Representative in Japan
United Nations High Commissioner for Refugees (UNHCR)

Johan Cels has been working with the Office of the United Nations High Commissioner for Refugees (UNHCR) in various functions and countries, e.g., in Hong Kong, northern Iraq and eastern Turkey, Bulgaria, Switzerland, and Ethiopia. He is currently working as a Representative in Japan, appointed as of September 2008. Prior to that, he was a Senior Policy Advisor (Peace and Security) in New York, focusing on Sudan, Chad and Somalia, as well as on post-conflict recovery and peacebuilding strategies. He also worked as a Project Leader for the Independent Commission on Human Security, co-chaired by Mrs. Sadako Ogata (former UN High Commissioner for Refugees) and Prof. Amartya Sen. He holds a Ph. D. in International Relations from the University of Notre Dame.

Randy Martin

Director at Large for East Asia, Mercy Corps

Randolph Martin is Director at Large for East Asia for Mercy Corps, a US-and British-based non-governmental organization specialized in international humanitarian relief and development. He has been engaged in international work for over 25 years, serving in senior management positions in the field and at headquarters. Since joining Mercy Corps in 2003, He has served as Director of Global Emergency Operations, coordinating the agency's response to numerous natural and man-made disasters. He arrived in Japan just days after the great East Japan Earthquake and has coordinated Mercy Corps' response through a partnership with Peace Winds Japan - with which Mercy Corps has been working for nearly a decade. He has now transferred to Japan to continue monitoring the response and recovery operations and to further develop Mercy Corps partnerships and alliances in East Asia.

能化 正樹

Masaki Nouke

外務省 NGO担当大使

昭和57年外務省入省。アジア大洋州局大洋州課長、大臣官房在外公館課長、在コートジボワール大使館書記官、在フランス大使館公使、在ジブチ大使館大使等を歴任。平成22年8月より大臣官房参事官兼国際協力局・中東アフリカ局。同9月からNGO担当大使を兼任し、NGOと外務省の意見交換・情報交換の機会に外務省を代表して参加するとともに、NGOの国際協力への参加を容易化・促進するための側面支援を行っている。